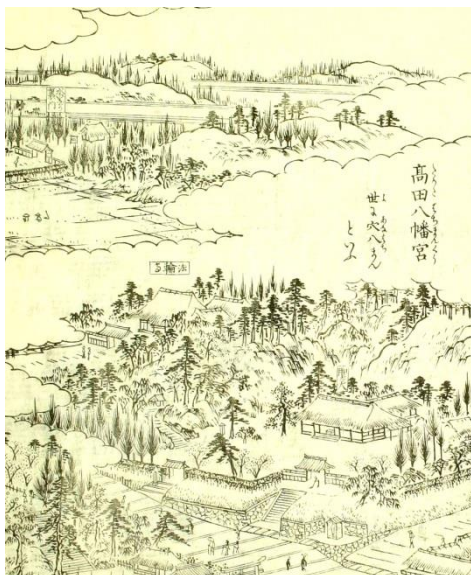


穴八幡神社と前田家

徳用村が譲り受けたご神体は、金谷御殿まつに祀られていた八幡はちまん神しんでしたが、この八幡神は江戸牛込うしごめの穴八幡神社あなはちまん（現在の東京都新宿区西早稲田）から分神ぶんしんされたものでした。穴八幡神社は、三代将軍徳川家光とくがわいえみつによって江戸城の北の総鎮護ちんごとされるなど由緒ゆいしよある神社です。

その分神がいつ頃から金谷御殿に祀られたかは定かではありませんが、三代藩主前田利常まえだとしつねが寛永十八年（1641）に、穴八幡神社あなはちまんの社殿造営に際して整地工事にあたった記録があるなど、前田家と古くから関係があったことがわかっています。

明治四年（1871）に齊泰は徳用村にご神体のほか穴八幡神社の由来等を写した縁起書を授けましたが、これは徳用の神社が穴八幡神社の分神であることを示す貴重なものです。



現在の穴八幡神社

穴八幡神社（『江戸名所図会』より）